

ニュースレター No.13

発行：2001年12月

◆調布の自然を満喫！＜環境モニター活動＞

●緑ヶ丘・仙川のガイドウォークを行いました。

小春日和に恵まれた三連休最終 25 日(日)、子ども2人を含む参加者 24 人と、環境モニター他 10 人の計 34 名の参加を得て、環境マップを手に、まっ盛りの街中の紅葉を期待しつつ仙川駅前を 10 時にスタート。

駅前のソメイヨシノの老木に始まり、駅北側のシラカシの並木、昌翁寺のケヤキを過ぎ、仙川遊歩道へと足を運ぶ。崖線に残る雑木林の紅葉は見事の一語で、感嘆の声と、ドングリ・落ち葉拾いの歓声がヒヨドリの鳴き声とともにハーモニーを奏でる。三鷹市東部下処理場の排水口を境とした、仙川の水草の繁茂状況の歴然とした差に驚きつつ、カルガモ・オナガガモはいずこにと目を凝らす。白百合女子大学に入り、校内の雑木林の静寂に身を打たれ、礼拝堂のステンドグラスの輝きに目を奪われひと時の休息をとる。緑ヶ丘みんなの森で、雑木林の説明と記念撮影の後、都営緑ヶ丘団地を横切り、ベニカナメの生垣や手入れの行き届いた立ち木を眺めながら帰路につく。

道々、通りすがりの方より「何のイベントですか？」

の問いかかけを多数受け、環境への関心の拡がりを感じ、主旨を答えつつ歩みを進め、本日のガイド佐久間さんの心こもった名解説に、予定時刻を 30 分超過するも、誰一人疲れた様子もなく、12 時 30 分頃終了した。

●ちょうふの自然をみんなで調べよう！第2弾「冬の樹木」

本年からの環境モニター活動の一環として、調布の自然を調べています。第1弾は、本紙11号でもお知らせしましたが、秋の野草調査として「キツネノカミソリ、ヒガンバナ、ツルボ、セイタカアワダチソウ」の分布状況を調べました。この調査結果は、現在集計の途中ですが、ツルボという植物を知らなかったが多摩川にはたくさんあることや、意外と野川にセイタカアワダチソウが少ないといった情報が寄せられています。

そして、12月より冬の調査として、冬に目立つ樹木の調査を行います。現在のところその候補として下記の5つがあがっています。詳細は、次回のモニター連絡会で決定しますので、次号のニュースレターでお知らせします。ぜひ、ご協力をお願いします。

「「「「 冬の樹木調査（候補） 「「「「「「「「「「「「「「「「「「

- ・イイギリ…葉が落ちると枝先に赤い実が房状につきます。
- ・ヤドリギ…落葉樹に寄生するヤドリギは冬に良く目立ちます。
- ・スギ…市内でも、昔は用材として植えられていました。
- ・マツ…崖線にアカマツ、多摩川にクロマツ？
- ・ヤツデ…熱帯の植物!?市内の林には増えているとか。



～緑ヶ丘みんなの森での記念撮影～

素晴らしい雑木林の紅葉をカラーで見せられないのが残念です。落ち葉を踏みしめる音を楽しみながら小春日和の半日を散策しました。

次回、環境モニターが案内するガイドウォークは3月10日(日)を予定しています。コースは未定ですが、早春の草花を探して散策します。

一 内 容

緑ヶ丘・仙川の自然を満喫!!

調布市内の活動報告

連絡会議議事要旨

イベント情報

調布市内での活動報告！

雑木林塾（第1回講座）

11月18日（日）都立長沼公園での実習多摩丘陵の一部を公園として楽しめる場所が第1回目の実習会場となり、連続講座がスタートしました。この公園の管理作業は市民ボランティアによって行われています。集合した京王線長沼駅で受講者の初顔合わせ。迎えにきて下さったボランティアの方に案内・説明をいただきながら尾根道を登り、沢水の流れる杉林を抜けると広々とした草原が。その先は桜の樹が並んで、いろいろな面から楽しめる公園でした。何種類かの野草を保護するために設けられた区域や、ドングリの苗畑などを見学。午後からは麓に下って作業実習。この日は管理作業の日でした。現場は竹やぶ。尾根を挟んで反対側にあるカタクリの自生地への観察路づくりでした。竹を切ったり、笹を刈ったり、切った竹で土止めを作ったりして。そして真中に生えていた高さ20mのハリエンジュ（にせあかしあ）を伐採。交代でノコギリを曳くこと小1時間。倒れる時の豪快な音を聞いたことは得難い経験でした。年輪から30年位とのこと。作業も楽しみ、すっきりした竹やぶを眺め、自分たちにも出来そうと皆さんこの実習結果に自信を持たれた様子でした。



今回は12月2日（日）ドングリ林公園の観察をしながら今後の管理計画を考えます。

野川・里山探検隊

秋の日を浴びてドングリ探検隊が活動しました。三連休の最終日11月25日、かに山とたづくり第2創作室で雑木林の観察と、ドングリなどを材料とした工作を行いました。参加者数は低調でしたが、小池さんの指導により落ち葉とドングリの観察、ドングリはどの木に成るのかなどの説明を聞いた後、落ち葉を一人ひとりがいっぱい集めて空高く投げ飛ばしたりして楽しく遊びました。工作では、太い枝、細い枝を切り、動物の顔を作ったり、ドングリのモビールや人形を作りました。はじめて鋸を使う隊員がほとんどでしたが、自分の作品に満足しているようでした。作品は市役所2階正面ロビーに12月14日まで展示してあります。ぜひご覧ください。

次回の探検隊は12月23日（日）午後1時に深大寺小学校横の青渭神社前に集合し、春の七草探しと寄せ植えを作ります。希望者及びサポートをして下さる方は、環境保全課までご連絡下さい。

実篤記念公園自然観察会

武者小路実篤記念館としては初の試みでしたが、実篤公園での自然観察会が11月24日（日）に都教育庁指導主事の富田 宏先生を招いて実施されました。この公園は、大正、昭和にかけて活躍され、文豪としても、また、独特な画風の画家としても著名な武者小路実篤氏が晩年を過ごされ、氏が亡くなった後ご遺族から実篤氏が暮らしていた頃そのままを残すようにと、調布市が寄贈を受け管理しているものです。ただ、大きな手を加えないまま二十余年が過ぎたため、庭園の大部分を占める崖線林内には、笹や常緑の低木、藤づるなどが生い茂り、竹林も密生状態になって暗い林になっています。

11月11日（日）には環境リーダーを主体とした勉強会（環境保全課主催で24日の講師の下見も兼ねた）も開催されました。実篤記念館主催の観察会は、午前午後とも二十数名の参加があり盛会でした。いずれの会も話題豊富な富田先生のお話に感心させられたり、大笑いをしたりと2時間の予定があったという間に過ぎてしまいました。さほど広くない公園ですがその道の達人にかかるると幾らでも話や勉強の種はあるものだとつくづく教えられたひと時でした。

ちょうふ DE 田んぼ日記その7 「にぎやかに収穫祭」

今年は無事に収穫祭を迎えることができました。「今年も」と言えないのは、この「田んぼ」が天候によって湧き水が減るとできなくなる状態が続いているからです。今年、柏野小学校より南に位置する下佐須地区では、私たちの田んぼしかできませんでした。昨年ではきた T さん、K さんのところはしろかきの水が無く、断念されました。調布の里山と呼ぶにふさわしいこの地区で「田んぼ」の風景は欠かせません。今年もたくさんの方にお出でいただき、いっしょに収穫のお祝いをしていただきましたが、来年以降もつづけることができるようになにか行動しなければならぬ時が来ています。今年の収穫は136Kg。

（野川で遊ぶまちづくりの会 尾辻）



第13回連絡会議 議事要旨

●第13回連絡会議の議題

- ① プロジェクト等の情報交換
- ② 懇談会活動のルールについて
- ③ 全体会に向けたスケジュールの確認、目的の検討
- ④ その他

日時 平成13年11月15日(木)
18:30~21:00
場所 調布市役所8F 第8会議室
出席者 10名

◆連絡会議で話し合われた内容は…

1. プロジェクト等の情報交換

連絡会議はおもに情報交換の場として開催されています。このニュースレターの活動報告やイベント情報は、その時のものをまとめたものです。(どなたでも参加できます。)

2. 懇談会活動のルールについて

(1) 保険について

これまで、プロジェクト等の活動について傷害保険の加入がなされていなかった。今後、雑木林塾を始めとしてケガが起る可能性が高くなる活動が増えてくる。そこで、万一の事故に備え傷害保険への加入を検討した。

このような活動に対応する保険として団体で加入するレクリエーション傷害保険や個人で加入するボランティア保険があるが、事務局の調べが不十分であり当面はレクリエーション傷害保険で対応する。今後は、「ケガと弁当は手前持ち」のボランティア精神をモットーにボランティア保険への加入を進めて行く。

(2) メーリングリストの活用について

市民間の情報交流をもっと積極的に行うためにメーリングリストの立上げについて提案があった。検討の結果、メールを持っていない人への対応策を検討する必要があるが、試行的にプロバイダの選定や利用者の募集等を進めて行くこととした。

(3) ニュースレター発送について

現在、ニュースレターの発送作業について事務局の負担が増加しており、時間のある方に手伝いをお願いしたいという提案があり、状況に応じてメール等で依頼の連絡をすることとした。しかし、作業日が流動的な面もあり、参加は難しいという意見もあった。

3. 全体会に向けたスケジュールの確認、目的の検討

(1) スケジュール

全体会(2月23日)に向けてやらなければならない作業と会議の日程の確認を行った。必要に応じて作業日を設けることとした。

(2) 必要な作業

全体会までにやるべきこととして、①懇談会からの提案づくり ②全体会のプログラムづくり ③他団体(個人)への依頼 ④役割分担などがあげられた。

(3) 目標

これまで話し合った意見をどのようにまとめ、発表するか目標の確認を行った。まとめる形には、呼びかけ文、意見書、提案書、実施計画書など考えられるが、「調布のよさ」を伝えることを前提にまとめて行く。

(4) その他

誰に向かって全体会を行うかや中間ワークショップの意見、連絡会議の意見をどのように整理して行くかなど話し合った。意見整理を12月6日(木)18:30~に実施する。

4. その他

・プロジェクト等に関わる会議の日程

日時	場所	活動名(主な内容)
11月29日(木) 18:30~20:30	市役所4階 第4会議室	入間・樹林の会 世話人会 12月16日の伐採作業に向けたプログラムの検討を行います。
12月3日(月) 18:30~20:30	市役所6階 第5会議室	環境モニター 世話人会 冬の調査について話し合います。
12月6日(木) 18:30~20:30	市役所8階 第8会議室	環境市民懇談会 作業日 これまで話し合ってきた意見を整理し、調布のよさのところを探ります。
12月10日(月) 18:30~20:30	市役所6階 第5会議室	環境モニター 連絡会 冬の調査の具体的な方法について話し合います。
12月11日(火) 18:30~20:30	市役所6階 第5会議室	雑木林塾 運営会議 どんぐり林公園の保全作業内容や雑木林塾の今後の進め方について検討します。
12月19日(水) 18:30~20:00	市役所6階 図書教養室	環境市民懇談会 連絡会議 情報交換や全体会に向けた意見整理を行います。(忘年会を行います)

トノ鳥西といらん

落ち葉が木枯らしにサラサラと舞う休日の朝。キーンキーンと梢で「百舌」の声。あたりを見まわすと、冬枯れの農地に「ツグミ」が1羽。渡ってきてまだ日がたたないのか、首を伸ばして警戒中の様子。

同じ日、銀髪頭に肩から黒い羽織に白紋付けて、下半身は橙色の袴を着たお尻ならぬ、尾っぽを振り振り、頭ペコペコ愛嬌者の「ジョウビタキ」を初認。ハッピーな1日でした。今日見られなかった「アオジ」「カシラダカ」「シメ」などの冬鳥はこれからの楽しみにとっておこう。多摩川には今年もパンダ顔の「ミコアイサ」そして「カンムリカイツブリ」は姿をあらわしてくれるのでしょうか。ひよっとすれば唐草模様の顔をした「トモエガモ」に会えるかもしれない。

わがまち調布は、まだまだ自然がいっぱいだ。



ダイサギ(撮影場所:野川)

参加しませんか？

● 雑木林塾（連続講座 全6回）

第2回 日 時：12月2日（日）10:00～

集合場所：調布駅北口

持ち物：昼食、飲み物、筆記用具等

どんぐり林公園の雑木林の観察を通して課題点をさぐり、今後の管理計画づくりを行います。

第3回 日 時：12月22日（土）10:00～

集合場所：たづくり1002学習室

持ち物：昼食、飲み物、筆記用具等

雑木林のシステムや人と自然の関わりについて学びます。

午後はどんぐり林公園で管理作業を体験します。

（連続講座第1回の記事を2ページに掲載）

（お申込み・お問合せ 環境部環境保全課まで）

● 入間・樹林の会（現地管理作業）

日 時：12月16日（日）9:30～

集合場所：入間地域福祉センター

（場所のわからない方は仙川駅前9:00集合）

持ち物：軍手、タオル等

現地で管理作業を行います。動きやすい服装でお越し下さい。作業の進み具合によっては午後に及びこともあります。

（お申込み・お問合せ 環境部環境保全課まで）

● 野川・里山探検隊

日 時：12月23日（日）13:00～

集合場所：青舘神社前

対 象：野川・里山探検隊、「ニュースレター」配布対象者

春の七草探しと寄せ植えをします。できあがった寄せ植えは各自持ち帰りとなりますので、大きめのビニール袋等をご用意下さい。

（お申込み・お問合せ 環境部環境保全課まで）

● 環境市民懇談会 忘年会！

今年最後の環境市民懇談会連絡会議（12月19日）の後、忘年会を開催します。会議には出席できないけど、忘年会には間に合うかも…という方も大歓迎です。大勢の方の参加お待ちしております。

日 時：12月19日（水）

集 合：20:00 調布市役所前（ケヤキ付近）

場 所：未定（調布駅周辺）

対 象：「ニュースレター」を手にした方

参加費：実費

問合せ：環境部環境保全課（小豆畑・倉林）まで

申込み：12月12日まで

その他の情報

■ 湧水保全ガイドラインづくりワーキング

現在全国各地で湧水の保全問題に直面している地域が多くあります。調布もそのうちのひとつだと思います。さまざまな地域の方々と連絡を取り合い、意見を交わし市民版の湧水保全ガイドラインをつくりたいと思います。

日 時：12月6日（木）19:00～

場 所：国分寺南町地域センター和室

（JR国分寺駅南口丸井ビル西隣）

主 催：みずとみどり研究会

連絡先：みずとみどり研究会

TEL & FAX: 042-327-3169

e-mail: mimiken@anet.ne.jp

■ 環境市民ボランティア活動助成 一般公募

平成14年度第一期セブン・イレブンみどりの基金

対象：国内で活動する環境市民ボランティア団体、NPO法人

分野：自然環境保全、体験型環境教育等

詳しくはホームページをご覧ください。http://7midori.org

■ 多摩川「水辺の楽校」交流会

日 時：12月8日（土）13:30～17:00

場 所：13:30～15:30

情報交換会場 ニヶ領せせらぎ館（登戸）

16:00～17:00

現地見学会場 狛江水辺の楽校

参加費：500円（資料代）

主 催：多摩川市民フォーラム

問合せ：多摩川市民フォーラム事務局

（NPO法人多摩川センター内）上田

TEL: 042-326-5135

★ニュースレターが調布市のホームページでご覧になれます。

<http://www.city.chofu.tokyo.jp/yokoso/inform/kankyo/kankyof.htm>

または、[おしながき] → [環境]

ちょうふ環境市民懇談会は、調布市内の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動を、パートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。様々な環境保全活動にご協力いただけるボランティアを募集しています。

連絡会議へ是非出席してください。

● 次回連絡会議 2001年12月19日（水）市役所6階図書教養室 18:30～20:00

お問合せ先：調布市環境部環境保全課 小豆畑・倉林 TEL 0424-81-7086

発行：ちょうふ環境市民懇談会 E-mail: kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp

自然環境の学習や保全に関する情報を募集しています。また、様々なお便りも募集しています。